

暁星

著者名： 湊かなえ
出版社： 双葉社

「ただ、星を守りたかっただけー」

現役の文部科学大臣で文壇の大御所作家でもある清水義之が全国高校生総合文化祭の式典の最中、舞台袖から飛び出してきた男に刺されて死亡する事件がおきた。逮捕された男の名前は永瀬暁、37歳。永瀬は逮捕されたのち、週刊誌に手記を発表しはじめる。そこには、清水が深く関わっているとされる新興宗教に対する恨みが綴られていた。また、式典に出席していた作家は、永瀬の事件を小説として描く。ノンフィクションとフィクション、ふたつの物語が合わさったとき見える景色とは？

グロリアソサエテ

著者名： 朝井 まかて
出版社： KADOKAWA

関東大震災から逃れて京都で評論家・柳宗悦の家に奉公する少女、サチ。ある日、河井寛次郎と濱田庄司という二人の陶芸家が柳家に来訪する。以前、柳は河井の作品を酷評したのだという。緊張するサチだったが……。

普天を我が手に 第三部

著者名： 奥田 英朗
出版社： 講談社

司法、実業、報道、娯楽。たった七日間しかなかった昭和元年に生まれた四人の子どもは激動の戦後日本を生き抜き、それぞれの道で時代を創り上げる。昭和という時代そのものを克明に活写した超大作、感動のクライマックス！

竹田志郎は、東京大学法学部を卒業後、晴れて検事となる。戦後の発展のウラで苦しむ人々を救い、私腹を肥やすものを糾すべく、公害訴訟や政治汚職事件にひるまず立ち向かう。

矢野四郎は、自身の会社事業を成功させるとともに大物政治家にも可愛がられ、右翼の大物となる。やがてやくざが淘汰されゆくなかでも国土である意志は一層強く、故郷・石川より衆院選に出馬する。

森村ノラは、GHQでの経験からAP通信の記者となるが、「大日本テレビ」の女性記者となる。結婚・育児にも励みながら、ベトナム戦争の取材を敢行するなど、持ち前の活力で奔走する。

五十嵐満は、米軍基地への慰問講演をきっかけに自身の芸能プロダクションを興した。気鋭バンドのプロモーション、プロレス興行への参入、世界的ミュージシャンの来日公演など、戦後の大衆文化の中核を担う存在となる。

ONE PIECE 112

著者名： 尾田 栄一郎
出版社： 集英社

念願のエルバフに上陸しロビンはサウロと待望の再会を果たす。そして未知の秘境で新たな冒険が動き出す一方で不穏な空気を纏った侵入者が出現し、嵐の予感!? “ひとつなぎの大秘宝”を巡る海洋冒険ロマン!!

雀ちよっちょ

著者名： 村木 嵐
出版社： 文藝春秋

平賀源内から高い評価を受けたことを皮切りに、文人としての名声をほしいままにしていた大田南畝。鳶屋重三郎とも交流を重ね江戸の狂歌を牽引する存在になるが、田沼意次の失脚と松平定信の台頭により出版界に肅清の嵐が吹き荒れる。一方、長男・定吉には、大田の家に時としてあらわれる狂気の萌芽が見えー。狂歌への思いと家族愛。天才・大田南畝の知られざる葛藤を描き切る傑作長編！

晴れの日の木馬たち

著者名： 原田 マハ
出版社： 新潮社

どしゃぶりの日もある。でも、雨はいつかきつとあがる。病に倒れた最愛の父を支えるため、倉敷紡績で働く少女すてら。社長の大原孫三郎の知遇を得、贈られた雑誌〈白樺〉でゴッホの絵を見て心打たれ、「ゴッホが絵を描いたように小説を書く」と、自身の道を定める。あることをきっかけに岡山を去ることになったすてらは、東京へと向かうが……

西洋の敗北と日本の選択

著者名： エマニュエル・トッド
出版社： 文藝春秋

すでに起きているウクライナ戦争、イスラエル・イラン紛争、トランプ関税、米欧の分裂と対立は、いずれも「西洋の敗北」が現実化したものである。

さらに今後、起きるのは、NATOの決裂か？ ドル基軸体制の終焉か？ 米国覇権の崩壊か？ そして日米同盟はどうなるのか？

「西洋の敗北」「西洋の分裂」を受けて、日本はどうすればよいのか？

トッド氏はこう指摘する。
〈日本がかなり困難な状況にあることは間違いありません。米国が当てにならないなかで、中国と対峙しなければならないからです。〉

現状で私がお勧めしたいのは、欧州と米国のヒステリーに極力関わらず何もせずに静観すること、しかし密かに核武装を進めることです。

米国が自国の核を使って日本を守ることは絶対にあり得ない。核は「持たないか」「自前で持つか」以外に選択肢はないのです〉

ONE PIECE 113

著者名： 尾田 栄一郎
出版社： 集英社

神の騎士団の謀略によりエルバフの子供達が入質に取られた!! 救出すべく立ち向かう巨人達だが圧倒的な能力の前に大苦戦!! この危機に対しルフィ達はどうか!? “ひとつなぎの大秘宝”を巡る海洋冒険ロマン!!